

農林水産大臣賞

株式会社美土里農園
(栃木県芳賀郡茂木町)

【完熟いちごがつくる人と地域と笑顔の里】

【取組の動機、主なむらづくりの内容】（平成28年6月に株式会社設立）

- 遊休農地対策として、地権者が集い「深沢パパスの丘協議会」が設立され、じやがいも等の収穫体験を通して都市農村交流を図り、地元を盛り上げたいと7年間活動したが、高齢化や後継者不足により活動が年々縮小、遊休農地が目立つようになった。このため、町と相談し、「地域外から農業の若い担い手を呼び込み、育て、繋ぐ」新しい形の体制づくりの検討を進めた結果、遊休農地の解消、生産性の向上や担い手を確保し、持続可能な農業を実践するため、法人を設立し、各種活動を展開中。
- 運営する農地ではいちご(60a)、アスパラガス(18a)、そば(1.8ha)を栽培し、直売に加え、「道の駅 もてぎプラザ」や「いい里さかがわ館」などに出荷。そばの栽培については、地元のそばの栽培団体「茂木南部農機具利用組合」と連携し、地元農村レストランへの供給体制を確立。
- 「第1回全国いちご選手権（令和5年）」で「とちあいか」が金賞を受賞するとともに、令和6年には、近隣のいちご農家が同選手権で金賞を受賞したことにより「茂木町産のいちごは完熟で甘い」と大きな宣伝効果ともなり、いちご観光農園来場数、売上額も、6年間で約5倍に増加。【来場者数：4,600人、売上額：5,200万円（R5）】
- 農業に携わる地域おこし協力隊員を積極的に受け入れ、令和6年までに11名が勤務、うち4名が任期満了後、従業員として営農、総務業務に従事。女性の隊員は、営業（EC通販）業務担当として、女性ならではの視点を生かし、加工品の開発、PR活動を展開。従業員数もパート含め16名と、雇用の確保に寄与。
- いちごの収量増や品質向上を目指し、暖房で排出されたCO₂の再利用する機器を導入するとともに、ハウス施設内のモニタリング装置を設置し、農業の省力化も含めた実証実験を実施中。



美土里農園の従業員



深沢地区集出荷・農業体験施設



いちごの摘み取り体験



地域おこし協力隊等によるいちごの選定作業